



第九たいむず

Best Answer

No.24 2015.11.12 通刊1166号 担当 あきら

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)



ドイツ・トリアー公演成功、おめでとうございます。日本からのメッセージは届いたでしょうか。離れていても同じ団員です。この歴史を一緒に受け継ぎ、来月の帰朝記念公演も一緒に歌いましょう。



◆ おかえりなさい！トリアー公演成功おめでとうございます！！

日本の歌、はやはり珍しいのか、赤羽先生のドイツ語でのあいさつ、曲目紹介、新井裕子さんのピアノ、そして海老原さんの日本舞踊に歌い終わるとすごい拍手でした。

そして、もう一度入場し直し、第九の演奏。630の席を埋めた観衆の身じろぎ一つ見えない、緊張した演奏で、いよいよ第4楽章。この時のためにしてきた練習の成果をすべてぶつけるように、私たちも熱演、そして終演。小さいホールに大きな拍手声援「ブラボー」の声。舞台と客席が一体となったことを感じました。大成功！！【大里さんの現地レポートより】

◆ 本日は「広報たかさき」の撮影を行います

広報たかさき12月1日号の表紙を飾ることになりました。19時30分ごろから撮影します。

女声は会議室、男声は申し訳ありませんが廊下で着替えを済ませて練習に参加してください。

高崎パリッシュ11月号は、スマホをかざすと合唱練習が聞こえます。原本を持ち歩きましょう。

◆ 本日は「11月分駐車料金」の精算を行います

駐車料金の精算日は毎月第1週ですが、先週は海外公演旅行中でしたので、本日行います。

台紙に領収書を貼って、受付のパート担当者へ申し出てください。

◆ 身障者用の駐車場について

演奏会に来てくださるお客様で車イス等の方のために駐車場を用意します。利用については、T稲葉さんまで申し込んでください。会場内も車イスの対応をしますので、必ず申し出ましょう。

◆ 演奏会当日の団員用駐車場について

出演する団員に限り、センター北側もてなし広場になります。出入口は北側(NTT側)。使用許可書を発行しますので、お名前、車のナンバーを伺うことになります。

ただし、時間で施錠し、レセプション終了まで出庫できません。終演後に早く帰りたい方は周辺の有料駐車場に入れるか公共の交通機関を御利用ください。御協力お願い致します。

◆ 第九演奏会の写真&CDについて、来週から申込受付開始(先払い)

演奏会の写真撮影は井田写真館様に、CDは群馬音楽センターで録音して団にてCDにします。価格は写真1枚1200円、CD1枚1000円。写真は自宅へ郵送。CDは1月に練習会場で配布。

◆ 足利の第九(12月20日(日)14時開演)、男声助っ人募集！受付中

高崎には足利から、足利には高崎から、と足利創立以来の仲です。助っ人募集は残念ながら男声のみ。前夜の高崎と全く同じメンバーで演奏会が行われます。基本はJR両毛線で往復しますが自家用車も可。足利名物「古印最中」の注文も受け付けます。助っ人に行ける人は受付まで。

◆ 「高崎の第九」フラッグ、駅から音楽センターまで、旗めいています！！！！

年末の高崎の風物詩「高崎の第九」フラッグが、JR高崎駅から群馬音楽センターまでのシンフォニーロード両側を飾りました。今後、クリスマスイルミネーションも点灯し、街を一気に飾ります。

◆ 指揮者レッスンは12月3日と17日の2回です

矢崎彦太郎氏による指揮者レッスンは2回です。両日ともお休みをしないよう、遅刻をしないように今から予定を入れておきましょう。3日の詳細な指示に対し、17日に試されます。

◆ チケットについて

チケットの売れ行きはいかがですか？各自1枚でも多く販売する努力をし、42回演奏会をぜひとも成功させましょう。チケットは1枚でも売れたらその都度受付で精算してください。

また、チケットを追加で欲しい方(Aさん)は、付箋に「ご自分のパートと名前、欲しい席種と枚数」をご記入の上、ボードに貼ってください。チケットを譲れる方(Bさん)はその付箋を持って記名されているご本人に声をかけ、希望のチケットと代金を引き換えてください。受付での精算は初めにチケットを持っていた方(Bさん)が行ってください。

◆ ポスターとチラシについて

ポスターやチラシは知っているお店に頼みましょう。営利目的には厳しいので、「コンサート」を強調するより「私が出ている地域の行事」「市民コーラス」を強調したほうが協力してくれますよ。

◆ 今後の予定

12月 5日(土) ドイツ公演 解団式 18:00~(メトロポリタン高崎)
12月19日(土) 第42回 第九演奏会(群馬音楽センター)
12月20日(日) 足利の第九(応援)
1月 7日(木) 新年会
2月28日(日) すみだの第九(有志参加/申し込みは締切済)



基本ツアー松島聖子さんから写真をいただきました。

【左】トリアー円形劇場跡近くにあった大きな木。

【中】トリアーの教会の内部

【右】トリアー市街地の風景



第8回ヨーロッパ公演<第4報>

いよいよトリアー入りです。全員順調。

9:00ホテルを出発、トリアーに向かいました。

途中、アウトバーンにあるガソリンスタンドでトイレ休憩。(日本のような豪華なSA, PAではありません)

モーゼル川沿いに分岐し、トリアーは目前。ブドウの北限に近いですが、黄葉がとてもきれいな田園風景です。

トリアー市に入りホテルで昼食。今回のトリアー受け入れ先のトリアー独日協会アウバート会長の歓迎をうける。

昼食後、古代円形劇場見学、2000年前にローマにより建設されたコロシウム、ライオンとの闘技でなく、平和に「赤とんぼ」を歌いました。素晴らしい響きで屋外なのにびっくりしました。男声の音がとてもよかったです。

世界遺産「ポルタニグラ」からマルクト広場を歩き、広場で、デモンストレーション、第九Mも交え、オケの皆さんが用意してくれたビールを配りました。

トリアー市長との面会は、古代ローマ遺跡発掘現場を博物館にした中で行われ、2メートルの身長の子市長さんにソーラン節、をプレゼント、ここも音響は良く、歌は響き渡りました。

その後、ワインの試飲販売会を受け、ホテルに戻り、夕食、早めの就寝ができました。明日は、指揮者、ソリスト、現地エキストラ、オケとの初練習です。

第8回ヨーロッパ公演<第5報>

おはようございます。いよいよ今日(11.6朝書いています)は本番です。木曜日の練習の様子報告と、温かい寄せ書き送付ありがとうございました。

5日目はルクセンブルグ観光と夕方から夜練習です。

本当に美しい、アウトバーンからの黄葉を見ながら、途中ノンストップで国境を越え、1時間もせず、ルクセンブルグ市内につきましたが凄い渋滞、時間がわかったようです。

狭い旧市街の観光どころ(憲法広場の金色の女神像、普通の家のような官庁街、大公宮)を見て、自由行動1時間。私は「ボック砲台跡」まで行ってみました。

練習の無い、賛助の皆さんを残し、トリアーに戻る途中、スーパーマーケットにより、お買い物。コーヒー、チョコレート、お菓子類、クノールスープがお土産に選ばれたようです。

宿に戻り、体制を整え、トリアー劇場に乗り込みました。練習室で、発声練習日本の歌を練習、久しぶりにピアノに触れた、ピアニスト新井裕子さんはほっとした様子でした。そして、ホールに移り、ピアノ伴奏で、指揮者レッスン。イケメンの指揮者に、女声陣は、かなりやる気を刺激された様子?テンポは普通の部類?レガードの優しく歌うよう修正されたり、かなり厳しく指導されたように思いました。でも、日ごろの練習の成果で、すぐについてゆくことができましたと思います。

一度ホテルに戻り出直し、オケ、ソリストとの合同練習になりました、オケや、ソリストにも厳しく指摘があり、かなり消耗した練習でした。この練習がゲネプロも兼ね、明日はゲネプロなし!解散!!長い一日で、どっと疲れが出て、ふろにも入らず寝ました。

第8回ヨーロッパ公演<第6報>

トリアー市での久しぶりの第九演奏会、しかも日本の高崎から来た合唱団によるということで、トリアーの街は沸き返った一日だったようです。

第6日は、夕方5:20舞台衣装に着かえて集合まで、自由時間。各自秋色濃いトリアーの街を名所巡り、お土





産のお買い物、美しい自然の中散歩と過ごしたようです。記者は、午前中、記録の整理、メールの発信で、尺八の練習はできず仕舞でした。午後モーゼル川の河畔を散歩しました。

夕方5:20、ホテルロビーに集合、いざ出陣！発声練習日本の歌、法被の着かえ確認。舞台上り、もう一度「日本の歌」を通し練習、立ち位置の確認、入出の確認をし、開演の時を待つ。定刻より少し遅れ、三色の法被を着た我々の入場し舞台上立つと、万雷の拍手。いよいよ本番の開始です。

本番の写真は残念ながらまだ入手できません。

日本の歌、やはり珍しいのか、赤羽先生のドイツ語でのあいさつ、曲目紹介、新井裕子さんのピアノ、そして海老原さんの日本舞踊に歌い終わるとすごい拍手でした。そして、もう一度入場し直し、第九の演奏。630の席を埋めた観衆の身じろぎ一つ見えない、緊張した演奏で、いよいよ第4楽章。

この時のためにしてきた練習の成果をすべてぶつけるように、私たちも熱演、そして終演。小さいホールに大きな拍手声援「ブラボー」の声。舞台と客席が一体となったことを感じました。大成功！！

あわただしく荷物をまとめ、打ち上げ会のシアター内ホワイエに行くと、熱演に酔った多くのお客様が、ホワイエを占有、その中で自然発生的に交流が始まりました。来ていた法被をプレゼント、ドイツ国旗の3色は喜ばれました。だるまさんも手あたり次第、お渡し。

そのうち、主催者の独日協会による、儀式的な挨拶交換が行われたという感じで終了しました。

ドイツの皆さんにもドイツ語として認めていただけたようです。

いろいろな交流があり、やはり来てよかった、先生に感謝と思いました。

第8回ヨーロッパ公演<第7報>

第7報 本日で基本組とお別れです。昨夜の興奮と飲み疲れか、モーニングコールに起こされ、慌てて荷物を作り、本日の移動に間に合わせる始末でした。

7:20全員で集合、お世話になった、現地ガイドさんにお別れに「ふるさと」を皆で歌い、感謝の意を伝えました。

10数名の基本コース帰国組を先に送り、オランダ組は、ルフトハンザ組合のストにより、急きよバスでアムステルダムに行くことを知らされました。少しも騒がず、5時間と予想される陸路の旅で、オランダに向かいました。

途中ベルギーに入ったところでトイレ休憩(写真)更にオランダに入って昼食休憩。貴重な体験をした昼食でした。

トリアーの運転手さんがホテルがわからず、1時間以上無駄にしましたが。何とかホテルに到着。有志は1時間の運河クルーズをして、レストランで食事。皆の顔には、やはり疲労の色が見えてきています。今晚はゆっくり寝て体力回復しましょう。

帰国組は、ハイデルベルグを観光し、18:00フランクフルト発、今頃はロシアの上空を快適に飛んでいる頃でしょう。

ああ眠い、おやすみなさい。



～つづく～ 最終日には飛行機がキャンセルになるという前代未聞のハプニングが発生！